



かどわきっ子

先月の30日(木)～31日(金)、5年生は、県立千々石少年自然の家で宿泊体験学習を行いました。この学習の目的は、次の2点です。

- ①自然に親しみ、そのよさを理解する。
②自分で判断し、行動する力を養う。

出発式では、2日間で「考える」ことを頑張してほしいと話しました。

考えるとは、難しいことです。その前に、「気づき」が必要であり、考える根拠となる「経験（体験）」がなければなりません。2日間の学習で、協力することの大切さを学び、やり遂げる達成感を経験できました。来年度のリーダーに向けて、着実に力を付けています。



今月7日（金）、4年生は平和と環境の学習で、長崎市と諫早市の施設などを見学しました。初めて行く原爆資料館では、戦争の悲惨さや平和の尊さを感じ、考えました。中には、あまりの悲惨さに目を背ける児童もいました。今回の見学も含め、一連の学びを8月9日の登校日で発表する予定です。

戦争や平和というものは、普段全く言うほど考えないことのひとつでしょう。ですが、長崎県で生まれ育つものとして、戦争や原爆についての学習は欠かせない学びのひとつです。日常生活は一瞬の内に失くすものであり、尊いものだということを感じられたと思います。



ちょっとブレイク

以前、大野木場小学校の校長をされていた渡邊林先生が学校においてになり、嬉しい話を伝えてくださいました。

「修学旅行中、6年生の代わりの班長さんや副班長さんが、横断歩道を安全に渡らせていた。下級生はきちんと手を挙げ、副班長さんは横断旗を使い、使い終わったら、きちんと巻いていた。」という内容でした。

嬉しいですね。この行動の裏にあるのは、日常の観察です。よく見ていました。「学ぶ」の語源は「真似ぶ」とも言われます。私たち大人も含め、見て聞いて自らをバージョンアップしているんですね。真似してもらえる大人にならねばと日々反省です。